

会報

丸子の杜

静岡県立沼津商業高等学校同窓会

〒411-0917
静岡県駿東郡清水町徳倉1205
TEL 055-932-5747 (FAX共用)

今、高校教育に
求められるもの



校長
前田喜久子

社会や経済活動のグローバル化・情報化・多極化の進展、人口減少、産業構造の転換：等々、世の中が刻々と変化し、次々と新たな課題が突きつけられている現代、その変化に対応し得る人材の育成が強く求められています。そうした中、社会のニーズに答え、逞しく生き抜く能力・意欲・活力を備えた若者を育てて行くこと、それが今、学校教育に求められている最重要課題だと考えています。

最近の教育事情を見ても、文科省は、①「十分な知識・技能」の習得と、それを基礎として②「課題や問題に対して自ら解を見出し、行く思考力・判断力・表現力」③「主体的に、且つ多様な人々と協働して学ぶ態度」の醸成が、特に高等学校段階以降の教育に求め

られる学力の要であるとし、これら「学力3要素」の伸長を目的とした「教育システム改革」を強力に推し進めています。知識・技能の注入に偏りがちだった従来の教育を見直し、知識・技能を生徒自身が活用し、応用し問題解決に結びつける主体性・協働性にまで高めて行くことが、今、高校教育の重要な使命であり喫緊の課題となってきています。

そういう点で言うと沼商は、社会で即戦力に繋がる資格取得の実績に加え、地域と連携した授業実践やインターシップ・沼商屋など知識だけではない実践力を高める教育にも力を入れ、部活動等でも人間力も磨き、生きる力を備えた人材育成に以前から努めてきました。さらに今年度は「学力3要素」の強化を目的とした「アクティブラーニング」を教員の授業実践の柱に据えて、生徒が自ら思考・表現・行動し、周りとの連携を強め、社会と繋がる力を育てることに学校全体で取り組んでいるところです。沼商は静岡県の商業教育を支える東部地区の拠点校として常に地

域から期待され注目されています。それだけに、校訓「自主・友情・進取」のもと、その良き伝統を受け継ぎ守ると同時に、時代の要請に応えるべく新たな教育活動への挑戦や学校運営の見直しも必要と考えています。これからも更に発展的な教育活動を展開し、生徒の「逞しく生きる力」を伸ばして行きたいと思えます。

最後になりましたが、同窓会の皆様方には日頃より本校の教育活動に御支援と御協力をいただきましてありがとうございます。部活動支援金や奨学金等の育英基金による各種助成、台湾研修への御支援等、大変心強く、皆様方の現役生への期待の大きさを痛感しています。お陰様で生徒たちは各分野で生き生きと活動し充実した高校生活を送っています。今年度は更に、同窓会の御支援のもと、3つの選択教室へのプロジェクト設置が実現しました。ありがとうございます。早速多くの教員がプロジェクトを活用した授業の工夫・改善に積極的に取り組み、教育活動の効率化・活性化が進んでいます。今後も皆様の御好意を生徒のため沼商のために役立ててまいります。そして学校経営を任せられた者として、生徒と職員に沼商の伝統と誇りを継承していく覚悟と諸先輩に愛され期待されている喜びを伝えていきたいと思えます。同窓会の皆様方、これからも変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。

母校を訪問して



太田茂人
(高二四回)

近年、卒業証明書が必要となり、一人で四〇数年振りに沼商にお邪魔しました。

玄関受付で書類の申請をしたところ、少々時間を頂きたいとのこと。待っていると、何故か走馬燈のように当時の色々な思い出が頭を過ぎり始め、足は入学時最初に足を踏み入れた生徒出入り口の下駄箱へ、バスケットをしていた体育館、体育祭で賑わったグラウンド等々へ向かっていました。そして、その場面／＼で出合った先輩、後輩、友人の笑った顔が一気に浮かんできました。楽しい青春の一コマにタイムスリップしたかのようでした。書類の交付を受けるため受付に戻ると、新築だった校舎は幾重にも補修され、書類の自分の年齢を見て改めて重ねた年月を感じ現実に戻りました。

高校時代という、自分にとって多感で好奇心が強く、人の目を気にせず、いわばいい意味で自己中心的な時代を沼商で多くの友達と楽しく過ごさせて頂いたことを感じる訪問でした。

「丸子の杜」…1921(大正10)年、いまの沼津市立第一小学校西隣から沼津市丸子町に移転した沼商の校地の北側には、鬱蒼と茂る式内丸子神社の鎮守の森があり、それを沼商の象徴とし「丸子の杜」と呼ぶようになった。

沼商レジェンド

副校長
金親徳行

一一〇周年を間近にした一一七
年の歴史と伝統ある沼商に新た
な気持ちで赴任しました。私にと
って沼商は、三度目の勤務になり
ます。二〇代の勤務は、情報処理
棟が完成したばかりで情報処理科
を設置し、情報処理教育に力を入
れ始めた時代で、当時全国でもト
ップレベルの簿記教育を行う会計
科・経理科、進学に力を入れる営
業科と情報処理科の四科で高度な
専門教育を推進していました。若
く未熟な私は、生徒と共に毎日必
死に勉強し、情報技術者試験にチ
ャレンジしたり、日商簿記検定一
級の授業を担当して翌日の授業の
予習に夜中まで難解な問題に取り
組むなど、高いレベルの商業教育
を指導する力を身に付けることが
できました。四〇代の勤務は、資
格取得の県内トップを目指し、商
業科教員が団結し、部活動や礼儀・
マナーにも力を入れる活気溢れる
雰囲気の中で、学年主任と野球部
副部長を担当し、学校運営の企画・
立案・運営に参画することができ
ました。沼商での二度の経験は、
私を教員として大きく成長させて

くれました。そして、五〇代で副
校長として勤務することになりま
した。静岡県商業教育の中核を担
う伝統校を担当する管理職として
責任の重さを感じています。

今年度は、同窓会の御支援で、
八月下旬に普通教室三教室に最新
鋭のプロジェクトを設置してい
ただき、先生方は、早くも魅力あ
る授業とアクティブ・ラーニング
を目指して積極的に活用していま
す。また、同窓会支援事業として
三年目となる台湾への生徒海外研
修は充実期を迎え、希望する生徒
の意識は年々高くなっています。
今年度は、私が引率を担当し、参加
生徒の選考から事前研修・結団式・
台湾研修・事後研修・全校集会で
の報告プレゼンまでを選ばれた生
徒六人と共に過ごし、この研修の
素晴らしさを体験することがで
きました。この他にも池の清掃、
明石海人歌碑の説明版設置など学
習環境の整備を積極的に御支援助
いただき、心より感謝申し上げます。
現在、沼商はマーケティング教
育にも力を入れ、高校生の柔軟な
発想で地方創生・地域貢献に積極
的に取り組んでいます。私も微力
ではありますが、伝統校沼商が一
二〇周年に向けて更なる発展・飛
躍をする推進役として努力します。
同窓会の益々の御発展をお祈りす
るとともに、今後も皆様の御支援
・御協力をお願い申し上げます。

「蘇った青春」

荒井義夫
(高二五回)

還暦を迎えた年代で、第六二回
沼津商業高等学校同窓会の当番幹
事となり、高校卒業後、ほとんど
面識が無かった同窓生と、運営を
行う事になりました。前年の幹事
から引き継ぎを受け、無事に当日
を迎える事ができました。一年間、
同級生の皆様と共に、行動しまし
たが、長い様で短い一年でした。
運営にあたり、それぞれの適材
適所を考慮しながら、無理の無
い進め方をするつもりでしたが、
想定以上に個々が、万全な働き
で、各自の能力を発揮してくれま
した。そこには大小を問わず会合
や打合せの後、役員で飲み会を行
い、コミュニケーションが取れた
事が、最大のメリットであると思
います。

高校卒業後、四二年間のブラン
クを埋めるのには、さほど時間を
必要とはしませんでした。

毎回、当時の思い出話や政治、
経済、歴史の記憶確認など、話題
は尽きません。毎年六〇歳の定年
を迎えた学年が当番幹事学年に成
る慣習は、個々に動きやすく、ま

まだまだ現役で活動できる事の、再
認識であることだと思いました。
「高校時代をもう一度」これを
期に今後も沼商発展のために同級
生と共に精進して行くつもりで
す。

先輩の皆様は基より、後輩の皆
様にも、本年の同窓会のスローガ
ンの如く「光り放て！未来につな
ぐ沼商魂」を胸に刻み、第六二回
沼津商業高等学校同窓会を成功の
道へ導いて頂いた協力者の皆様にも、深く感謝申し上げます。



社会人となって



白壁佳奈

(高六七回)

沼商を卒業して半年以上が経過しました。今、私は矢崎部品の材料開発センターに勤めています。

会社に入社した日、慣れない化粧とスーツ、ハードな研修に疲れまして、一日にして高校生に戻りたいと思ってしまったことを良く覚えています。今更ながら本当に就職してよかったのか、進学した方がよかったのではないのか、悩んだ時期がありました。でもそんな時に支えてくれたのが、高校で一緒に就職した友達です。働いている会社が違って話を聞くとみんな同じようなことに苦労しています。頑張っている友だちの姿を見ると、不思議と私も頑張れます。高校で得た友達は大切だと強く感じています。

配属されて実際に業務をしてから沼商生でよかったと思うことがあります。一つ目は検定の取得です。在学中に商業高校協会主催の検定は社会に出てから通用するのかが疑問に思っていました。検定を持っているから何かプラスになることはありませんでした。しかし

検定に向けて行った勉強に関しては日常業務で役立っています。経費管理をする上で簿記の知識はとても重要でした。ワードやエクセルは毎日使います。それらを使って経費のフォーマットを作り直し、

詳細な経費管理をすることができました。素早く電卓での計算が出来るので上司からの質問にすぐに答えることができました。矢崎の規定や法律を理解する時にも商業経済の知識は大切でした。沼商でなければ勉強出来なかったと思います。二つ目は就職先です。私は今の職場に就職できてよかったです。最初は仕事も不慣れでしたが、今では多くの仕事を任せられるようになりました。経費、庶務、勤怠、設備、秘書等の業務を担当しています。また同じ職場ではありませんが、沼商の先輩に会うことが出来ました。仕事でもプライベートでもよくして頂いております。不安でいっぱいの中、頼れる先輩がいるのは心強いことです。職場も業務もとても充実しています。

私が今、職場で充実して働いているのは、沼商の先生方のご指導と先輩方の素晴らしい実績によるものだと思います。ありがとうございます。沼商の歴史を作り上げていくことを楽しみにしています。

プロ意識を持って



山田寛直

(高六七回)

夏の甲子園やインターハイなどで高校生が必死にプレーする姿は感動し、涙を流す人もいます。一方で、プロのスポーツ選手では成果をあげることが第一とし、勝利することができなければ、年齢的に若くても、引退をする選手がいます。

私は、今IT企業のエンジニアとして日々を過ごしております。冒頭でも記述したとおり、何事においても、一生懸命に取り組むということは、とても大切なことだと思います。なぜなら努力することとを怠らない人は、周囲から尊敬され、上司や先輩から仕事のチャンスをもらうことができます。

入社当時、私は、何事も一生懸命に取り組むということを目標としていました。お金をもらうのだから一生懸命に取り組むというのは悪いことではないはずですが、

入社して半年が過ぎたころ、お客様から自社のサービスについて伺いたいという電話を受け取りました。私は営業担当ではないのですが、私が日々運用を行っている

サービスについての質問だったので、そのまま誰かに変わることもなく電話を続けました。自社のサービスの優れているところ、具体的な操作方法など細かく一生懸命に説明しましたが、お客様の満足いく回答をすることができなかつたのか、話は特に盛り上がりませんでした。そのまま電話を切られてしまい、その後そのお客様から連絡はありませんでした。

その時私は、一生懸命に取り組むだけではだめということを知りました。一生懸命に質問に答え、お客様から連絡はありましたが、お客様からの期待はあっても、お客様の満足いく回答や使ってみたいと思いたくなる話をしなければ、新たにサービスを導入してくれません。一生懸命に質問に答えると同時にお客様の期待に応えなければいけなかったのです。

私はまだ社会人になって一年目の新人で、これからも何十年と働いていきます。

これからは、一生懸命に取り組むと同時にアマチュアではなく、自分は今もうその道のプロなのだという意識を持ち、私が勤務する会社からの期待、先輩社員さんからの期待、お客様からの期待、このすべての期待に応えていけるように日々成長していきたいと思っています。

明石海人の生涯を追って



杉森賢二

(高四七回)

われわれ沼商の先輩には、歌集『白猫』というベストセラーでも名高い『明石海人(本名野田勝太郎)』という偉大な歌人がいる。校舎の敷地内や、沼津千本松原にも歌碑が刻まれているが、その偉人の歴史や背景を知っている人は老若男女さほど多くはなく、沼商卒業生である私もその一人だった。『沼商同窓会明石海人の会』に加わったことがきっかけで、明石海人がどのような人物で、どのような生涯を送ったのか興味を持ちはじめた。

島には『収客棧橋』『収容所』『監房』『目白寮跡』『納骨堂』と、隔離された昔の印象のまま現在でもその姿を残している。

この『長島愛生園』は昭和5年、日本初の国立療養所として誕生した。現在でも残る『管理棟(現在は歴史館)』は日本のハンセン病を語る上でも重要な役割を果たした場所であり歴史的な建造物とも言われている。当時ハンセン病は感染症ということがわかっていて、有効な医療法がなく、国の政策で療養所への強制的な隔離が行われていた。

現在、ハンセン病という病気は治療で改善されている。しかし、入所者は既に高齢化し、何らかの後遺症を有し社会復帰が困難な状況で、ほとんどが『終の棲家』としてこの地で生活している。以前に比べ、ハンセン病に対する理解は格段に向上しているが、社会的弱者に対する偏見・差別は現代においても根強いものが残っていると言われている。

社会的弱者に対する偏見・差別の問題は次代に繰り返してはならない。そしてこれからも、齢三〇を超えて短歌を学び、病いと闘いながら生き抜いた海人の生涯を後輩たちに伝えていきたい。

明石海人の終焉の地を訪ねて



笠井幸子

(定高九回)

昨年の十一月二六、二七日同窓会明石海人の会委員五名で長島愛生園を訪問した。企画から凡そ一年。漸く実現した訪問の目的は、愛生園との連携を図るためである。

愛生園は瀬戸内市邑久町虫明の瀬戸内海に浮かぶ小島である。海人は昭和七年から一四年迄の七年間をこの島で暮らしたのである。到着後、そのまま歴史館を見学する。ハンセン病を直視する初めての機会に衝撃を受けた。療養所でありながら人権侵害の埒塙と化した時期があった事など。

担当者として、翌日のスケジュールの打合せを終え、外に出ると、真正面に入り日がキラキラ輝き島全体を包み、かつてこの島に2千人近い患者が、強制収容されていたとは想像もつかない美しい景観が広がっていた。

翌日、神谷文庫と海人資料コーナーを見せて頂き、何点かの資料の借受け可能な配慮に安堵した。

歴史回廊コースでは、『監房の焉り笑ふもの狂い夜深く醒めてその聲を聞く』という海人の歌碑が目についた。目白寮の側に、監房があり、収監された者の狂おしい叫

び声がよく聞こえたのである。坂道を登ると高台に納骨堂があった。死しても故郷に帰れない、約千五百柱の遺骨が眠っている。ハンセン病に対する偏見や差別の目は、患者のみならず、家族まで巻き込んだ歴史の証明である。

納骨堂から島の北側に下ると、棧橋と収容所(回春寮)があった。棧橋は朽ちて波に洗われていた。入所者はここから上陸して、先ず回春寮の建物に収容される。各種の検査、現金など取り上げられ、消毒風呂へ入浴させられ、持ち物すべての消毒が行われた。人格を無視した対応に、無念さと悲しみが込み上げてきた。

海人の『白猫』の序文にある「深海に生きる魚族のやうに、自らが燃えなければ何處にも光りはない」の言葉は後の入所者に大きな希望を与えたとパンフレットに書かれていた。

この島に来て、ハンセン病を知らずしては明石海人を語れないと思っただ。それは明石海人が知覚麻痺、失明、気管切開の苦患の間から、歌を通してハンセン病を訴えたかった思いが伝わってきたからである。

歌人・海人の語り部としての使命感と歴史館の入口に「この島を、忘れないでほしい」と書かれた言葉が過ぎる。我々は昭和六三年に長島へや々と架けられた橋、別名「人間回復の橋」を渡って、各々の思いを胸に帰路に着いた。

支部だより

沼商「ふじの会」活動状況

事務局 工藤 毅(高一四回)

平成二七年度活動も総会を始め、ほぼ予定通り推移しました。その中で、富士市ブナ林創造事業への参加について記述します。

富士市の行事として毎年四月二十九日に行われ、「ふじの会」として毎年苗木五〇本を寄付しております。会としての参加者はバス一台分位の人数で会員・家族にお願いしております。今年も市役所をバスで出発し富士山南麓で下車、新緑の林道を「沼商ふじの会」の



市長を囲んで

幟を先頭に植栽地に向かいました。全体で二千本の苗木を五百人位で植栽しました。ブナ林植栽ですが、苗木の種類はブナ・ケヤキ・モミジ等七種類有り、元々富士山麓に自生していた樹林を復元させようとしているのです。植栽後は講演やミニコンサートが行われました。

会員が植えた苗木が何十年後、大きな樹林となり、後世に継承されたら、我々「ふじの会」の活動も意義あるものになると信じております。

御殿場支部

青嶋 孝明(高一七回)

十二月九日に開催された支部総会では、来賓に宇佐美同窓会長、杉山副会長、前田学校長、第六三回同窓会高橋幸雄代表幹事をお迎えし、親睦を深めました。また、御殿場西高校にて三五年間教鞭を執る傍ら、地元の歴史についての研究を重ねられている芹沢伸二先生をお招きし、「富士山宝永噴火と伊那半左衛門」のお話しを聞く場を設けました。

伊那半左衛門は江戸幕府の役人で、一七〇七年の宝永の大噴火の際、特に噴火の被害の大きかった富士山麓地域の復興に尽力した人物です。

幕府に背き、咎めを受けてまで

も人々の救済に尽力し、その救済により救われた農民たちは、その遺徳を偲び伊那神社を建立し、苦



芹沢伸二先生による講演会

提を申しました。宝永の大噴火では、御殿場駅周辺で約一m、富士山に近いエリアでは約三mもの火山灰が降り積もったそうです。芹沢先生の伊那半左衛門の研究を通じて、宝永の大噴火で何が起きたのか、我々はそのから何を学ぶべきか、また、そんな状況を生き延びるための「突破する力」の重要性についてお話しいただきました。

地元の知られざる歴史についてのお話しであったという点だけではなく、「災害からの復興」や「富士山の噴火」は、現代を生きる私たちにとっても他人事ではない内

裾野支部総会を開催

支部長 杉本 和男(十五回)

第十二回沼商裾野支部の総会が六月二十日、市内の「松富」で開催され来賓に高村裾野市長をはじめ前田沼商学校長、宇佐美同窓会長、鳥澤県議らをお迎えして祝辞を頂戴しました。

議題では、二十六年事業報告及び会計報告並びに二十七年事業計画が承認されました。

事業報告では地域貢献事業の一環として市内南小藤棚の剪定作業が同窓会の有志によって奉仕されたことが報告されました。南小藤棚は平成十八年に地域貢献事業として棚を建設し藤が植栽されてます。

記念講演会では「風と歩いた巡礼の道―徒歩世界一周の途上にて」の演題で、裾野市在住の渡邊浩氏を講師に招き開催されました。

講演では、平成七年から十七年間を費やし世界を踏破し、生涯の夢約二万五千kmを踏破し、生涯の夢「世界一周」を歩いた、経験談をもとに、歩いた動機や歩く力、気力、体力など歩いて学んだことなど語り、同窓会員たちに感動を与えました。

第3回生徒海外研修

期間 8月16日～20日
訪問国 台湾（台北市内）
研修生 一年生 土屋季生
〃 中井百華
〃 宮沢昂雅
〃 三年生 杉本昂平
〃 時田善正
〃 望月秀人

指導教員 金指德行（副校長）



この海外研修は私の考えを大きく変えてくれました。台湾へ行って文化の違い、言語の違いなどいろいろな違いを痛感しました。研修3日目に、士林高級商業職業高校に来ました。台湾の学生達は幼稚園（5歳）から英語を勉強し

ているらしくペラペラでした。私も英語が好きなので勉強をしますが、追いつけませんでした。そんな自分がすごく悔しかったので「聞く力・話す力」を伸ばして行きたいです。私は将来、国際関係の仕事に就きたいです。この研修で夢を叶える！と思ったことです。私はまた必ず台湾にいきます。そして土商の友達にも会いに行きます。次に行く時には、英語を土商の生徒達に負けないくらい話せるようになります。この研修は私の人生で本当に良い経験でした。

一年 中井百華

私は海外研修を終えて、ものすごく貴重な体験をすることができました。初日の夜、飲み物を買うためにコンビニへ行きました。台湾には日本のコンビニが多くあり、セブンイレブンやファミリーマートがありました。売っているお菓子などは日本のものも多く見覚えのあるものばかりでした。しかし、飲み物は台湾の物が多く日本語表記がないため、選ぶのに苦労しました。2日目からは台北の市内研修、工場見学、企業訪問、夜店散策、高校生・大学生との交流などができました。特に高校生との交流はとても貴重な経験となりました。台湾の高校生はとても積極

的な生徒が多く、人見知りな私もすぐに仲良くなることができました。国を越えて友達ができました自分に自身を持てるようになりました。台湾研修を終えて、私は自分の将来の夢の実現に、一歩近づけたのではないかと思います。

一年 土屋季生

沼商同窓会 「明石海人の会」

講演会

実施日 6月26日（金）
対象 一年生 一九七名
講師 瀬川裕市郎（高10回）

講演を聴いて

明石海人についての話を聞いて明石海人は強くて前向きな人だったんだと思いました。ハンセン病になると、故郷を離れ、家族とも一緒に暮らせないと聞き驚きました。病気になるって心が沈んでいのに、家族と別れなくてはならないのは、本当につらいことだと思います。明石海人は家族と暮らすことができない自分の悲しい気持ちを振り払い、最後まで家族のことを思い、人目のつかない夜中に家を出て行ったのだと思います。明石海人は、歌集「白猫」の序文に、「齢三十を超えて、短歌を学び、あらためて己れを見、人を見・」という部分があります。明石海人は、短歌を学ぶことに

よっていろいろな普段見えないところに目をむけるようになったのだと思います。わたしは、明石海人が病気になることをプラス（前向き）に考えているように思えました。病気になるなければ、小学校の先生を続けて、短歌というものに出会っていなかったと思います。明石海人は、「白猫」の最初に天刑であると言っています。自分の今までの出来事を並べた後に最後には、天啓でもあったと言っています。私も本当にその通りだと思います。私は人の意見に流されやすく、後々に後悔することが多くあります。でも、今までおこったことを頭で整理していくとこれでよかったんだと思うことがよくあります。毎回毎回自分の思うように進むことはできません。でも、自分の思っていた通りに進めなかったことが何かに繋がってくるのは確かだとも思います。明石海人のように、マイナスのことをプラスに考えられるような人間になりたいと思います。

一年 高津みらの

第15回校内短歌コンクール 最優秀賞

神風の散った命は海底に

願った平和は今ここに

三年 山本拓真

—5月30日（土）表彰式実施—

部活動紹介

吹奏楽部

私たち吹奏楽部は部員七一名で活動しています。今年も夏のコンクールを乗り越え、東京デイズニールランドが行っているミュージックフェスティバルプログラムに合格し、十月に東京デイズニールにて演奏会を実施することができました。また、地域との交流も積極的に行っています。日々の活動では「夢」をもって部活動に取り組むことを意識しています。十二月の定期演奏会での二部のオリジナルステージは、是非ご覧になっていたいただきたいお客様から「感動した」と言ってもらえることが私たちの目標であり「夢」です。夢を実現するために、部活は毎日「本気の朝礼」からはじめられます。そこで部員同士の夢を言葉にします。口に出すことで現実のものとなると信じています。明るい環境づくりを追求し、最高のチームワークを作ること「夢」の実現のために私たちが取り組んでいることです。感謝を私たちのエネルギーに変えすばらしい音楽を届けていけるよう頑張ってください。今後ともご支援を宜しくお願い致します。

部長 鈴木 美帆



バレー部

私は中学一年生からバレーボールを始め、三年生の時にロンドン五輪で日本が銅メダルを取った試合を見てバレーボールへの興味が増し、高校ではもっと上を目指してバレーをやりたいと思い、沼津商業高校に入学しました。沼商に入学してからは毎日遅くまで練習し、最初はレベルの高い環境の中でついていくことが精一杯でした。しかし先生や先輩方に注意され指導して頂いたからこそ今の私があり、二年生の時は全国大会に出場、三年生の時には国体県選抜選手に選ばれ、他では出来ない経験させてもらうことができました。高校三年生になって先輩方が引退し、自分達を中心となってチームを引っ張っていく代になり、

私は頼られる存在になりたいという気持ちが強くなりました。辛く苦しい時もありましたが、そんな時、声をかけ励ましてくれたのはチームの仲間でした。バレーボールでは一人の小さなミスが大きく流れを左右してしまうけれど、小さな思いやりやナイスプレーが自分達に大きな流れを呼び込みます。思いやりを持ってボールをつなぎ、一つになって支え合う仲間がいたから、どんな時も乗り越えることができました。私が部活を通して学んだ仲間の大切さは、バレーボールの大きな魅力の一つだと思います。仲間や支えてくれる方々への感謝を忘れずに、全国大会を目指して頑張ります。応援よろしく願います。

三年 近藤穂乃香



大会報告

電算機部

全国高校情報科学競技大会(3月)

IP部門団体優勝(8連覇)

個人部 準優勝 廣瀬加奈

個人部 4位 近藤皓平

個人部 5位 武井悠真

SE部門団体 5位

個人部 7位 齋藤美桜里

全国高校情報処理競技県大会

団体部 優勝

個人部 優勝 齋藤美桜里

全国高校情報処理競技大会(7月)

団体部 8位

全国高校IT選手権大会(8月)

団体部 準優勝

個人部 6位 近藤皓平

個人部 9位 齋藤美桜里

全国高校情報処理選手権(8月)

団体部 3位

東海高校実務競技大会(11月)

情報処理の部 3位

☆部活動支援金のお礼☆

昨年度より創設された「沼商部活動支援金」により、今年も寄贈された支援金を、多くの部活で活動費の一部として有益に使用させて頂きました。諸先輩方のご厚意に報いるよう日々精進して行きたいと思えます。

生徒会長 白田 光汰

事務局だより

今年も二〇〇名が新会員に

平成二八年三月、男子卒業生六四名、女子卒業生一三六名の二〇〇名が新会員として登録され、二月二十九日に入会式を行いました。

平成二七年度決算報告

Table with financial data for 平成27年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算書. Columns include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure) with various sub-items and amounts.

Table with financial data for 平成27年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書 and 平成27年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算報告書. Columns include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenditure).

今期の新しい役員です

- List of board members and staff: 名誉顧問 (大川 徳雄), 顧問 (大嶋 淑嗣), 相談役 (金刺 実雄), 会長 (宇佐美文男), 副会長 (岩崎 正幸), etc.

第二回沼商OB美術展

沼商OBの方々が日常趣味で作した美術・工芸、書道、写真等を一同に集めてOB美術展を開きます。

六月二日(木)〜六月八日(水)まで、静銀四季で行われます。多くの方のご来場を願います。

母校校庭歌碑の案内板をつくりました

去年、母校に建立されている歌碑の説明板を新たにしました。



写真にもあるように案内板の中央に海人の沼商時代の写真を置き、左側から略歴を紹介し、右側にあ

母校の池の掃除をしました

去年八月、母校から話もあって中庭の池の掃除を行いました。事前に池にはヘドロがかなり溜まっており、汚れもあることなど確認済みでした。



ありがとうございました

高二五回生様(六二回総会当番幹事)より、パソコン一式をご寄贈頂きました。

堀江一郎様(高九回)からも多額のご寄付を頂きました。ありがとうございます。心より御礼申し上げます。

同窓会への連絡お問い合わせは...

電話・ファックス兼用 ○五五・九三一・五七四七 (土日・祝日を除く月々金の午前十一時〜午後三時まで)

六三回総会・懇親会幹事

高橋幸雄(高二六回) 高橋幸雄(高二六回) 高橋幸雄(高二六回)

会計監事

鈴木 幸雄(高一三回) 植松 勝一(高一二回) 杉森 賢二(高四七回) 田村 公子(高二八回) 中島 恵子(高二二回) 加藤 敏子(高一八回) 芹澤 隆良(高一八回) 太田 義枝(高一五回) 諏訪 平(定高二七回) 大石 剛(高二二回) 鴻野 繁雄(高二一〇回) 長嶋 隆(高一九回) 古澤 友子(高一八回) 佐野 公文(高一七回) 川口 英亮(高一七回) 岩崎 正幸(高一六回) 岩崎 正幸(高一六回) 杉山 勝(高一五回) 宇佐美文男(高一五回) 瀬戸 和代(事務長)

六三回総会・懇親会幹事

高橋幸雄(高二六回) 高橋幸雄(高二六回) 高橋幸雄(高二六回)

事務局

笹村美紀子(高二三回)